

医療法人 脳神経研究センター (CENTER OF NEUROLOGICAL SCIENCE)

シンボルマークについて

- ・ 当法人のシンボルマーク中央に位置する「杖」と「ヘビ」は、ギリシャ神話の医学の神「アスクレピオス」が持っている「アスクレピオスの杖」をモチーフにしています。「アスクレピオス」は常にヘビが巻きついた杖を持ち、そのヘビの毒を薬として上手に用い人々の命を救ったことから、「アスクレピオスの杖」は医療のシンボルとされています。当院のシンボルマークにおいては、杖に巻きつくヘビが「新さっぽろ」の「S」を象ることで、地域医療を支え、地域に貢献する意志を表しています。

「アスクレピオスの杖」は現在も医療・医術の象徴として世界的に広く知られ、WHO（世界保健機関）のマークにも採用され、世界各国の救急車にも描かれています。

- ・ 3つの星は、神経細胞をモチーフに病院の3つの理念を表しています。
- ・ 上記を囲む月桂樹（常緑樹）の葉は、葉が落ちず枯れないことから「希望」「再生」「復活」といった意味があり、私たちの想いを込めています。
- ・ 文字色に札幌の景観色である「藍の里」（濃藍色）を使用し、シンボルマークのブルーとあわせた濃紺系の配色は、これまで当院が積み重ねてきた「歴史」と「信頼」をイメージしています。

